

◆関東羈旅 (カントウキリヨ) No.33

高尾山の紅葉(東京都八王子市)

ケーブルカー清滝駅

秋桜の花が野わげに揺れ始めた秋の休日、紅葉狩りを楽しもうと思い「ミシュラン」の三つ星観光地にランキングされている「高尾山」を目指しました。JR中央本線「高尾駅」で京王高尾線に乗り継いで終点の「高尾山口駅」に着くと、早朝から弁当を買い求める姿がみられます。山頂の売店で食事を済ませようと計画していたのですが、計画を変更して駅前の売店でおにぎりを購入しリュックに詰めなおしました。

高尾山口駅より徒歩で3分ほど、ケーブルカー「清滝駅」に到着しガイドマップを広げると、高尾山山頂へのコースが6つほどあります。どのコースで行こうか迷ったのですが、勾配が日本一のケーブルカーに乗り、人気のある薬王院参道をたどるコースを選びました。ケーブルカー「高尾山頂駅」から薬王院までの途中には、タコ杉、浄心門があり、男坂・女坂の分岐に差し掛かります。樹齢450年を超えるといわれるタコ杉は、参道開削で切られそうになったとき、根の部分を一夜にしてタコのように曲げたと伝えられています。また、男坂を進んでいくと「百八の石の階段」があり、百八とは、人間の限りない悩みや苦しみの煩悩を意味すると書かれていました。なぜ百八の階段が男坂にあるのか、これから登っていくのか、妙に説得力があると感じました。

川柳・高尾山にて

- ・葉も燃える カラス天狗の ド迫力
- ・岐路多く 選ぶに困る 登山口
- ・どこ見ても なぜか怒りの 天狗顔
- ・本能も 煩惱かしら 百八つ

高尾山薬王院

薬王院に到着すると、ちょうど紅葉も見ごろの時期を迎えており、青空を背景に薬王院を囲む木々が真っ赤に映えています。薬王院の正式名称は「高尾山薬王院有喜寺」とあり、今から約1260余年前の天平16年、聖武天皇の勅命により東国鎮守の祈願寺として行基が開山し、御本尊・飯縄大権現(いづなだいごんげん)は不動明王の化身とされ、随所に見られる天狗の像は、御本尊の家来として山を守っているそうです。

山門、仁王門とくぐり抜け、御本堂・御本社でお参りし散策すると、境内にある天狗の像が睨んでいるような気にもなります。迫力ある天狗の写真をカメラ目線にならないよう撮りながら、紅葉の登山道を進んでいくと高尾山山頂に到着しました。

- ・幸運を ひっぱりダコの 多幸(たこう)杉
- ・青空に 鳥居薄れる モミジかな
- ・お面でも 鼻が高いと 語るよう

高尾山薬王院

山頂からは快晴の下、鮮やかな雪化粧の富士山を眺めることができます。山頂には観光案内所である「高尾山ビジターセンター」と食堂があり、少し割高ですが自動販売機もありました。久しぶりの富士山をゆっくり眺めながらの昼食休憩とし、マイブームのポットのお湯でコーヒータイムと洒落込んでみたのですが、目の前には自販機で・・・苦笑い。虚しさを覚えました。気持ちも新たに下山コースは1号路を選び気分転換、金毘羅台園地にある金毘羅神社でお参りし、美しい富士山と紅葉を楽しめた散策に満足感を覚え、帰路につくことができました。

- ・富士仰ぎ 染めゆく紅葉 高尾山
- ・純白で きれいに見える 雪の富士
- ・早過ぎず 時期が肝心 モミジ狩り

「海員だより」